

網走「力」を未来に！

～継続は力。着実に、誠実に、そして一緒に～

2015年1月 佐藤しんや

《私の政策》

～網走力を育む～

▼地域のことは、自分たちで決める力を育む

現政権が掲げる「地方創生」は地方の本気が問われます。地域主権型社会の実現、さらには道州制へとつなげていくことが重要です。

- ◎ 自分たちの住むまちのことを、自らが考え、そしてそれを実現するために、市民のみなさんと意見交換を進めます。
- ◎ 自分たちの住む地域の歴史や文化、自然、産業へ理解を深めるための教育分野や産業分野の施策の充実を図ります。

▼雇用の創出で地域の生活基盤を支える活力ある地域経済を育む

人口減少社会への対策としての、雇用の創出は重要課題です。

- ◎ 基幹産業である「食」関連分野を中心に雇用の創出を図ります。
- ◎ 北海道の諸政策と連携し、女性の就業率向上を図ります。

▼網走・北海道の次代を担う子どもたちの未来を育む

子育て世代の方々が安心して暮らせる「やさしい」まちづくりは、網走の未来をつくります。

- ◎ 働きながら子育てができる環境の充実をめざします。
- ◎ 少人数学級を推進し、地域住民の意見を尊重した教育・学校体制を図ります。
- ◎ 統合教育を推進し、地域の学校で障がい児が学ぶことのできる環境をつくれます。
- ◎ 道立オホーツク公園等、子どもやその家族が自然とふれながら健やかに集う環境づくりを進めます。

～網走力を魅せる～

▼特色ある地域資源を活用し、網走（北海道）の魅力を発信

地域の特色をまちづくりに活かし、みんなで魅力を発信することが重要です。

- ◎ 6次産業化のネットワークづくりを地域ぐるみで行う体制整備を進めます。
- ◎ 省エネ・新エネ、食品加工分野等において、地域資源を活かして農林水産業と連携する技術・製品開発を推進します。
- ◎ 付加価値を高める加工・流通システムの整備で地場製品の流通拡大をめざします。

▼滞在型、体験型観光で地域の魅力を発信

人口減少対策のツールとするためにも、観光立国を掲げる北海道・網走のくらしを体験してもらい、地域の魅力を理解してもらうことが重要です。

- ◎ 地域の特色を活かした滞在型、体験型で「本物の北海道・網走」を満喫できる観光地づくりを進めます。
- ◎ 移住・長期滞在希望者のフォローアップ体制の整備・充実を道に働きかけます。
- ◎ 交流人口を増やすために、交通ネットワークの充実を関係機関に働きかけます。

～網走力を守る～

▼地域の産業を守り、生活を守る

わたしたちが安心して暮らすためには、地域の産業が安定し、生活インフラが確保されることが重要です。

- ◎ 継続的で安定した農業政策が示されない状況下での、TPP(環太平洋パートナーシップ協定)交渉断固反対します。
- ◎ 平成27年以降の農業基盤整備事業の継続を働きかけます。
- ◎ 漁業の経営安定確保のための施策を推進します。
- ◎ 水産研究施設の整備・充実を道や国に働きかけます。
- ◎ 長寿命化に向けた道路施設等の整備を積極的に道や国に働きかけます。
- ◎ 公共交通機関の路線維持・確保のための支援制度の充実強化が図られるよう市と連携し道や国に要請します。

▼エネルギーの地産地消で暮らしを守る

地域の特色あるエネルギー資源の活用促進のためには、地域の人の声が反映され、出資などによって地域の人が参画し、地域に利益が還元されるような制度整備や人材育成が必要です。

- ◎ 再生可能エネルギーの数値目標を設定し、エネルギーの地産地消率の向上をめざします。

■「医療体制」「福祉の基盤」を守る

わたしたちが生活するためには「安心」が不可欠です。その基礎となるのが医療や福祉です。それを守ることがわたしたちの暮らしや地域を守ることに繋がります。

- ◎ 医師・看護師等の不足による「地域医療の不安」を解消するために、市と連携し道や国に働きかけます。
- ◎ 介護保険制度等の国の動向を注視し、安心して地域で住み続けられる福祉体制の構築のために、市と連携し必要な要請などを行います。
- ◎ 障がいの有無に関わらず誰もが安心して暮らしていける地域づくりを進めます。